

会員募集中！！

ふくしま再生の会は会費と寄付により運営されています。

また、現地での活動、東京など現地以外での活動には多くの方の知恵と力が必要です。

お金も知恵も力もまだまだ足りていません。

ぜひ皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。

参加の形態は多様です。

●**会員**:年1万円の会費 事務局にご連絡のうえ、下記口座にお振り込みください。

●**寄付**:1口3000円(何口でも)事務局にご連絡のうえ、下記口座にお振り込みください。

●**現地でのボランティア**:放射線計測、除染の実証実験など(*)

●**現地以外でのボランティア**:Web更新、翻訳など

いずれの形態でも(もちろん組み合わせも)ご参加を歓迎します。詳細は下記の事務局にお問い合わせください。

(*)飯館村は計画的避難地域に指定されており、村民の方々は全戸避難されています。

飯館村の空間放射線量率は場所によって異なりますが活動地域では2~6 μ Sv/h程度です。

1泊2日(伊達市に宿泊)の作業による被曝線量は20 μ Sv~30 μ Sv程度となります。

これはヨーロッパへ飛行機で行く際に片道で浴びる宇宙線の放射線被曝量に相当します。

現地活動への参加にあたっては、放射線についての予備知識をもってご参加ください。

「ふくしま再生の会」発起人・共同代表

田尾陽一(1941年生まれ)

東大理学部物理卒 Global Voices from Japan 実行委員長

工学院大学客員教授 地域あんしんシステムデザインプロジェクトリーダー

大永貴規(1942年生まれ)

東大工学部卒 遊域計画株式会社代表 地域プランナー

NPO 都市農村交流推進センター副理事長

三吉譲(1942年生まれ)

東大医学部卒 三吉クリニック院長 精神科医

会員数:86名(2011年10月5日現在) うち氏名公表を了承された会員 67名 50音順、敬称略

あ	愛沢 革(兵庫県)	相澤 力(神奈川県)	あみとたかふみ(神奈川県)	伊井 一夫(千葉県)
	伊井 尚子(千葉県)	飯吉 伸一(東京都)	飯吉 正子(東京都)	石川 佳代(東京都)
	石田 省三郎(神奈川県)	内山 典子(東京都)	宇野 義雄(東京都)	遠藤 幸子(神奈川県)
	大上 泰弘(東京都)	大久保 紀彦(東京都)	大隅 晶子(東京都)	大永 貴規(千葉県)
	小川 唯史(東京都)	長田 博昭(東京都)		
か	風間 啓(北海道)	菊地 良一(千葉県)	北村 充成(神奈川県)	黒岩 秩子(新潟県)
	桑澤 悦子(東京都)	小久江 栄一(東京都)	小林 一(神奈川県)	
さ	斎藤 光紀(神奈川県)	佐久間 次也(神奈川県)	佐々木 宏人(東京都)	鮫島 宗明(東京都)
	篠原 有輝子(栃木県)	清水 韶光(神奈川県)	菅原 寛孝(埼玉県)	
た	田尾 陽一(東京都)	高橋 努(埼玉県)	田中 泰邦(東京都)	千種 正男(神奈川県)
	角田 英一(神奈川県)	角田 明美(神奈川県)	富田 晴雄(神奈川県)	土器屋 由紀子(東京都)
な	内藤 博文(岡山県)	中野 英之(京都府)	西村 達之(神奈川県)	野々垣 旦(東京都)
	野村 義宏(東京都)			
は	伏見 諭(神奈川県)	伏見 譲(埼玉県)	堀北 哲也(千葉県)	
ま	松川 淳子(東京都)	松信 章子(東京都)	松本 泰(東京都)	三上 良悌(東京都)
	水口 俊典(埼玉県)	三吉 譲(神奈川県)	森本 昌子(大阪府)	
や	矢野 伊津子(東京都)	山下 了(千葉県)	山本 義隆(東京都)	横田 捷宏(東京都)
	与謝野 達(東京都)	吉岡 正和(茨城県)	吉澤 潔(東京都)	吉澤 匡(千葉県)
わ	若林 一平(東京都)	和田 昭允(東京都)	渡辺 典孝(東京都)	渡邊 俊明(東京都)

【連絡先・事務局】

ふくしま再生の会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-1-17

キュラーズ本駒込 9階

遊域計画株式会社内

TEL:03-3823-5191 / FAX:03-3823-5894

http://www.fukushima-saisei.jp/

Email:desk@fukushima-saisei.jp

【振込口座】

三井住友銀行

白山支店(店番号 228) 普通口座 6821970

口座名義 ふくしま再生の会 経理 大永貴規(オオナガアツキ)

ゆうちょ銀行

記号 10120 番号 25978481 ふくしま再生の会

他行からの場合:店名・店番 018 普通預金 2597848 ふくしま再生の会

ふくしま再生の会

「ふくしま再生の会」は、

「ふくしま」の自然と生活の再生を目指すボランティア集団です。

趣旨に賛同する会員個人の自主的な運営により、

被災現地に拠点をおいて下記のような活動を展開しています。

【現在の主な活動】— 新たなプロジェクトが次々に生まれています

・詳細な放射線マップの作成

・家屋、農地、山林の除染実証実験

・産業再生のための各種の試み、提案

・被災地から世界への情報発信

●**組織** — ボランティアによる自主運営組織です

会員からの提案によって各種プロジェクトが生まれ、会員の自発的な参加によりプ

ロジェクトが遂行されていきます。プロジェクトを円滑に推進するため、発起人が

運営する事務局がサポートします。

●**活動拠点** — 被災地に拠点を置いています

放射能汚染により避難を余儀なくされた方々の土地家屋を借用し、活動の拠点と

しています。こうした方々とは、土地家屋をご提供いただくというだけの関係ではな

く、活発に意見を交換しながらともに協力してプロジェクトを推進しています。

●**財政と運営** — 会費で運営されています

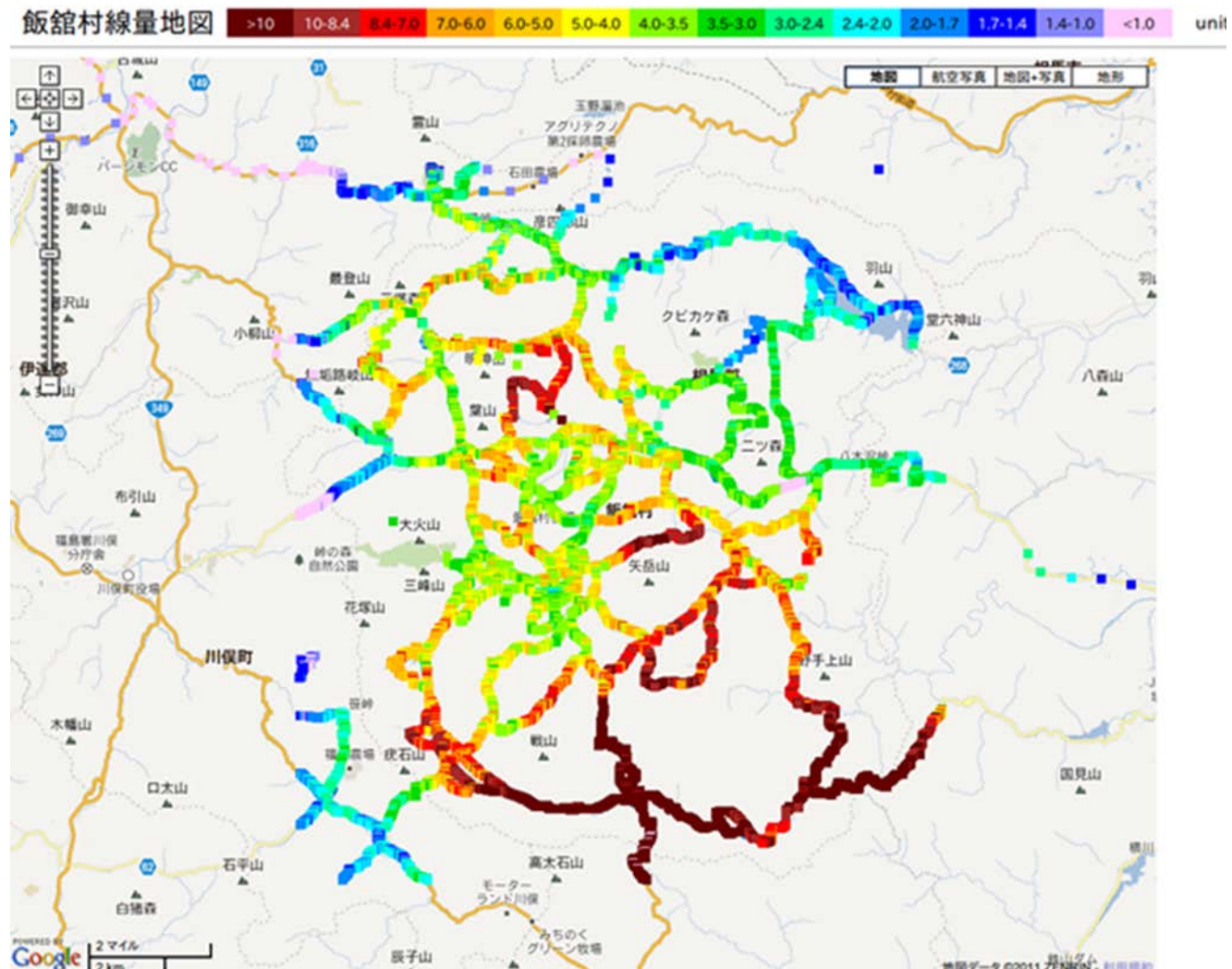
会の活動は会員の会費により運営されています。運営費の管理は事務局が行っ

ています。

現在のおもな活動

詳細な放射線マップの作成

詳細な放射線マップは、今後の除染計画の立案、除染効果の把握に必須の基本データです。GPS と無線通信機能を搭載した専用計測器を自動車に載せて道路を走り回ることによって、正確な放射線マップデータを効率よく収集できます。また同じ個所を継続的に計測し続けることにより、放射線量の時間変化を把握することもできます。



飯館村の放射線マップ。村内の放射線量は地域により差が大きく、今後の対策立案の基礎となる詳細なデータが必要です。

【南相馬市、いわき市で定点観測】

飯館村の他に南相馬市といわき市にも計測器を設置し、放射線を常時測定しています。測定データは通信によって飯館村のコンピューターに集められます。

【関連プロジェクト】

- ・GPS 測位機能付き携帯型放射線計測器の開発(協力)
- ・低価格放射線計測器の製造・販売・サービス(協力)
- ・食品の放射能測定用計測器の開発



家屋、農地、山林の除染実証実験

【家屋の除染】

高圧洗浄などで家屋の除染を行いました。家屋の周囲にある水たまりになりやすい場所の泥を除去することですぐそばの放射線量を下げることができますが、全体としては20%程度しか下がりません。これは周囲の農地や山林からの放射線の影響が大きいためと思われます。また、瓦に付着しているセシウムは高圧洗浄では効果的に除去できないことがわかりました。瓦の除染方法については研究中です。



高圧洗浄による家屋の除染

庭の除染

【農地の除染】

土中のセシウムを吸収する性質が強いとされる品種「ソルガム」を畑に植え、除染効果を測る実験を行っています(2011年9月下旬に刈り取り、結果の解析中)。また、田畑では粘土層にセシウムが吸着していることがわかっていますので、これを「代掻き」してセシウムが付着した粘土を洗い流すという除染方法の実験を行っています。



植物による畑の除染

畑の線量測定

【山林の除染】

山林の放射線量を調査した結果、広葉樹林においては落ち葉にセシウムが付着していることがわかり、落ち葉を取り除くことによって放射線量を半分に落とせると期待されています。また針葉樹林においては、葉と樹皮にセシウムが付着していることがわかりました。



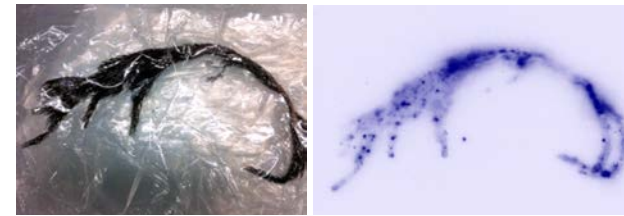
山林の調査

落ち葉の吸引実験

産業再生のための各種の試み、提案

【燃料用作物の栽培実験】

植物によって土中のセシウムを吸い上げて除染するという目的とは逆に、土中のセシウムをできるだけ吸わずに植物を育て、そこからバイオ燃料を抽出し、さらにフィルターで放射性物質を除去することによって安全な燃料を製造するという実験を行っています。



針葉樹(杉)の葉

高感度フィルムで造影

【汚染樹木からの材木生産】

針葉樹では葉と樹皮にセシウムが付着しており、これらを適切に除去すれば汚染されていない材木を生産できます。針葉樹を計画的に伐採して除染を進めると同時に、適切な方法で製材することで材木の生産を事業化する検討を進めています。



実験農園の種まき

樹皮の除去

【低価格な放射線計測器の普及】

低価格な放射線計測器として話題になっている「Pocket Geiger」の開発チームと協働して、手軽な放射線計測器の販売とサービスを提供するとともに、放射線防護の知識を普及するサービスをビジネス化する検討を進めています。



Pocket Geiger

車載型計測器

